

2024. 7. 18

【日本貿易統計（24年6月）】

輸出金額は引き続き円安がかさ上げ

～輸出数量は5ヵ月連続マイナスと実勢は軟調推移～



経済調査部 エコノミスト

藤田 敬史

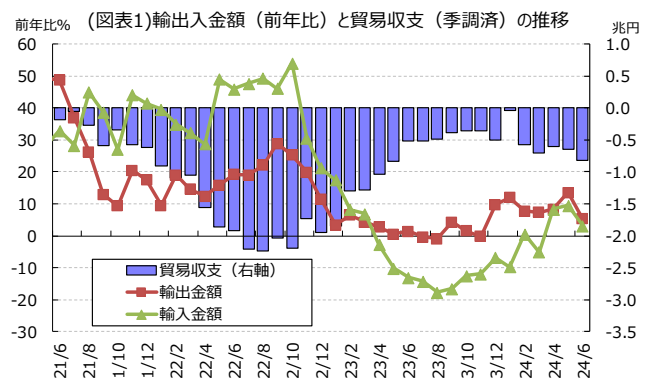
ポイント

- 財務省の6月貿易統計によると、輸出金額は前年比+5.4%と7ヵ月連続のプラス。季調済前月比は▲0.2%で4ヵ月ぶりのマイナスとなった
- 円安の進行が円換算金額をかさ上げする構図が続いており、実勢を示す輸出数量は5ヵ月連続のマイナスと軟調な推移が継続
- 米国景気は徐々に減速しつつあり、中国景気も力強さに欠けることから、先行きの輸出は当面軟調な推移となる可能性が高い。本格的な回復は2025年以降とみる

1. 円安によりかさ上げされる構図が継続

財務省から発表された6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+5.4%（5月：同+13.5%）、輸入金額は同+3.2%（同+9.5%）となった（図表1）。輸出は7ヵ月連続、輸入は3ヵ月連続のプラスとなったが、円安によりかさ上げされる構図が続いている（後述）。

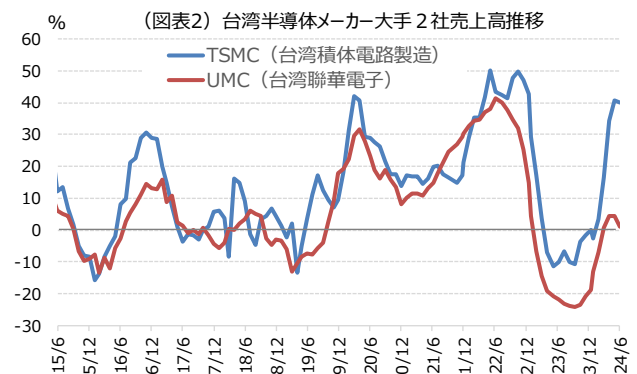
季調済輸出額は前月比▲0.2%と4ヵ月ぶりのマイナス、季調済輸入額は同+1.6%と2ヵ月連続のプラスで、季調済貿易収支は▲8,168億円（前月比+26.8%）となり、前月から赤字幅が拡大した。



（出所）財務省「貿易統計」

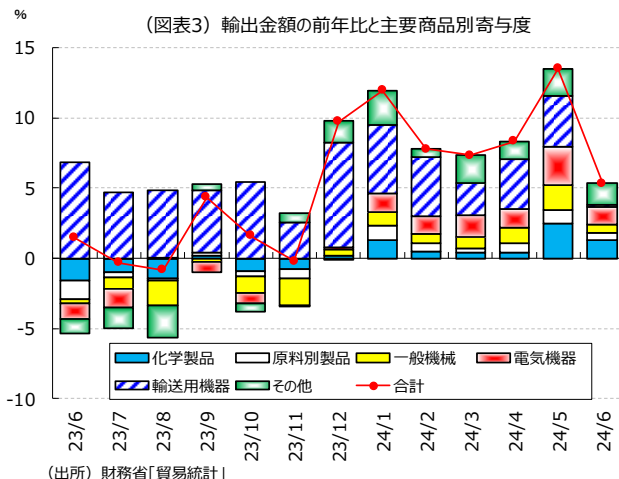
2. 半導体関連は堅調、自動車は大きく減速

詳細なデータが参照可能な金額ベースで商品別輸出をみると、半導体等製造装置が前年比+37.9%（寄与度：+1.2%）と、旺盛なアジア圏の需要に支えられる形で高い伸びとなった。シリコンサイクル（半導体市況の好不調の波）の回復により（図表2）、当面は半導体関連が輸出の下支えとなる展開が期待される。また、これまで輸出をけん引してきた自動車は同+2.3%（同+0.4%）と伸びが大きく鈍化した（図表3）。前月までは、2024年入り後の一部自



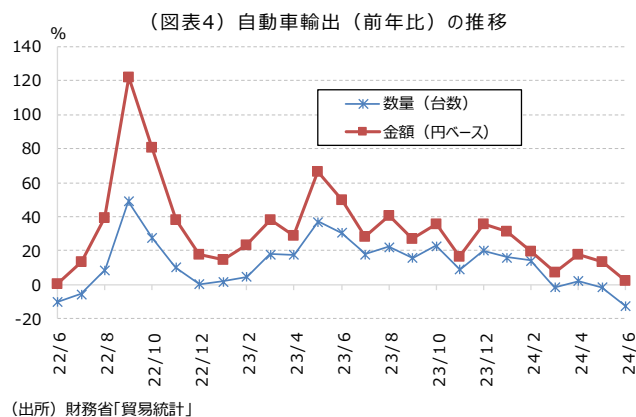
（出所）各社HP、月次売上高から明治安田総研作成（3ヵ月後方移動平均前年比）

自動車メーカーおよび自動車部品メーカーの認証不正問題や、能登半島地震の影響から持ち直す動きが示されていたが、6月に発覚した大手自動車メーカーの認証不正問題による生産停止の影響が顕在化した形である。もともと自動車輸出の下支え要因となっていた挽回生産の動きは一巡しつつあったため(図表4)、今後、認証不正問題に係る出荷停止が解除され、生産が順次再開されたとしても、自動車輸出の伸びは以前に比べると鈍化する可能性が高いとみる。

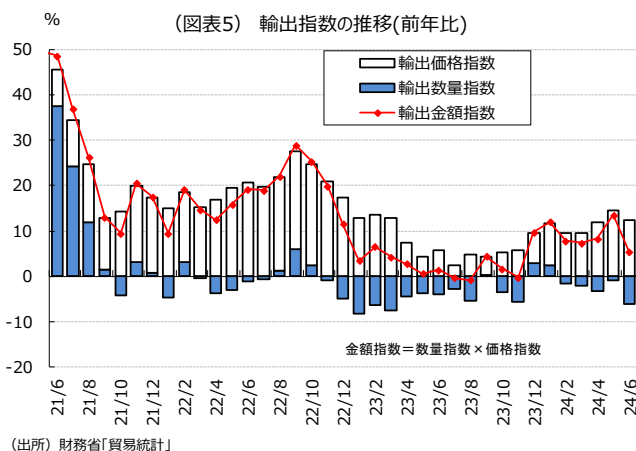


3. 実勢を示す輸出数量は5ヵ月連続マイナス、先行きは軟調推移を予測

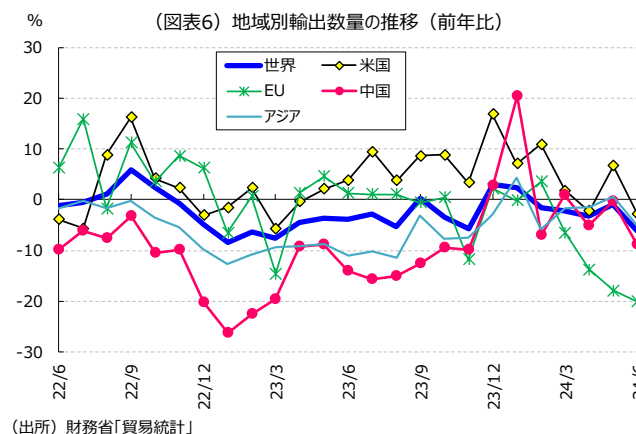
輸出入の実勢を示すのは数量である。6月の輸出金額を価格指数と数量指数に分解すると、価格指数が前年比+12.3% (5月:同+14.5%)、数量指数が同▲6.2% (同▲0.9%)と、価格指数は二桁の伸びが続いている一方、数量指数は5ヵ月連続のマイナスとなっている(図表5)。輸入も同様に、価格指数が同+13.3% (同+11.7%)、数量指数が同▲8.9% (同▲2.0%)とこちらも価格指数は二桁の伸びが続いている。前年6月の為替レート(税関長公示レートの平均値)は139.24円/ドルであったが、今年6月は156.64円/ドルと対前年で12.5%の円安となっており、円換算ベースの輸出入金額をかき上げる構図が継続している。



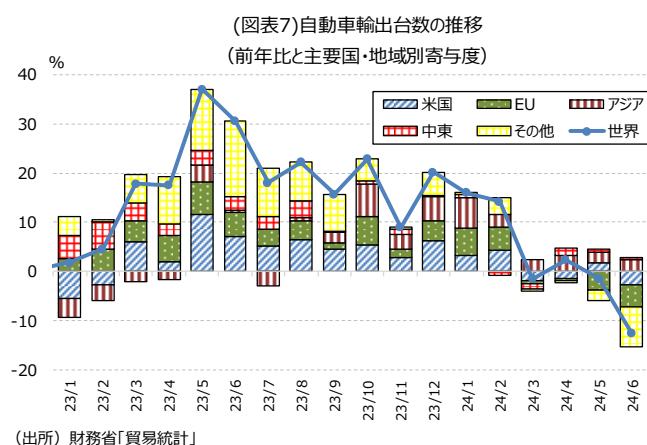
輸出数量指数を相手国・地域別に見ると、米国向けが前年比▲2.9% (5月:同+6.7%)、EU向けが同▲20.1% (同▲17.9%)、アジア向けが同▲5.3% (同+0.7%)、うち中国向けが同▲8.9% (同▲0.4%)となっている(図表6)。EU向けが特に弱い動きとなっているが、主因は自動車である。前年は半導体不足に伴う供給制約の緩和や欧州各国における電気自動車(EV)向けの補助金などが呼び水となり自動車需要が回復し、日本からの自動車輸出台数も大きく伸びたが、こうした動きが一巡したとみられる(図表7)。



先行きの輸出は、当面軟調な推移となる可能性が高いとみる。中国景気は力強さに欠ける推移が続くことが予想される。米国景気は底堅いものの足元では徐々に減速しつつある。輸出の力強い回復は当面は期待できない可能性が高い。輸出が安定的な景気のエンジンとなるのは、欧州に続いて米国も利下げサイクルに転換し、さら



にその効果が景気に反映され始める段階とみられ、早くとも 2025 年以降と予測する。



本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください

明治安田総合研究所 エコノミスト 藤田 敬史

電話番号：03-6261-7947

e-mail：takafumi.fujita@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411